

(背景) パリ協定を受け、世界は脱炭素社会に向けて大きく舵を切っている。ESG金融の拡大など、世界的な資金の流れも変化。国内外で脱炭素分野での市場創出が見込まれる。

日本経済の状況・課題

A 供給面

①生産性向上

- イノベーションの実現割合
- オープンイノベーション
- 非価格競争力
- 企業の参入、退出
- スタートアップ企業の成長力、起業活動

②資本ストック

- 設備の老朽化

③労働力

- 人手不足感
- 人的資本投資

投資と生産性向上は表裏一体

B 需要面

ア) 投資

- 収益の伸びに比べて緩やかな設備投資
- 中小企業の設備投資の状況
- 無形資産投資の状況
- 企業の現預金の蓄積

イ) 民間消費

- 所得の伸びに比べ、力強さに欠く民間消費 (背景：将来に備えた貯蓄性向の高まり、デフレ予想など)
- 消費ニーズの変化
- 消費者への価格転嫁が困難

ウ) 公共投資

- 高水準でおおむね横ばい

エ) 輸出入

- 純輸出の状況
- 交易条件の悪化

C 雇用面の状況・課題

- 賃金の伸び悩み
- 労働分配率の低迷
- 非正規雇用者の増加

D 金融面の状況・課題

- 成長分野への資金供給が少ない
- 長期金利の低下と金融機関の経営環境の悪化

E 財政面の状況・課題

- プライマリーバランスに改善の遅れ、債務残高対GDP比の上昇
- 社会保障費の増加

F 地域経済の状況・課題

- 人口減少や人手・後継者不足
- 地域を支える産業の稼ぐ力の向上・維持
- エネルギー代金の地域外流出

経済的課題への様々な対策

未来投資戦略

- ✓ Society5.0の実現に向けたプロジェクト推進、社会基盤づくり等

生産性革命

- ✓ 賃上げや設備・人材投資促進、Society5.0やイノベーションの推進等

働き方改革

人づくり革命

- ✓ 子育て、教育、介護支援やリカレント教育の充実、高齢者雇用の拡大等

新たな外国人材の受入れ

経済・財政一体改革

地方創生の推進



カーボンプライシングによる価格シグナル

<脱炭素に向けた価格体系の包括的な転換>

緑字：価格シグナルがなければ実現しにくい効果

黒字：数量調整によっても実現するが、価格シグナルでも実現する効果

1. 直接的に脱炭素マーケットを拡大する可能性

【≒価格変化による代替効果】

(1) 脱炭素需要創出・・・Bのア)、イ)

- ✓ 相対価格の変化による脱炭素化に資する財・サービスの民間消費拡大
- ✓ 財・サービスの生産・利用時における排出削減のための設備投資や、脱炭素化に資する財・サービスの提供のための設備投資の拡大

(2) 脱炭素分野でのイノベーション促進・・・Aの①

- ✓ 財・サービスの生産・利用時における排出削減のための設備投資によるプロセス・イノベーションの促進
- ✓ 脱炭素分野で新たな財・サービスを生み出すプロダクトイノベーションの促進

(3) 脱炭素分野での純輸出の強化・・・Bのエ)

- ✓ 脱炭素化に資する財・サービスの海外展開
- ✓ 化石燃料の消費抑制による国内資金循環の拡大

(4) 脱炭素分野での資金調達の活性化・・・D

- ✓ 相対価格の変化による中長期的な脱炭素ビジネスの予見可能性の付与、投資の活性化
- ✓ 日本の脱炭素レピュテーションの向上・ESG金融の拡大による国内外からの資金調達

2. 生産性向上のきっかけとなる可能性・・・A、B

【≒価格変化による代替効果】

- ✓ プロダクトイノベーションの促進
- ✓ 非価格競争力、付加価値生産性の向上
- ✓ 新事業・産業の創出、競争の活性化促進

3. 経済へのコスト・負担となる可能性・・・A、B

【≒価格変化による所得効果】

- ✓ コスト増加、価格上昇による需要減少
- ✓ 国際競争力の低下、リーケージの発生
- ✓ 投資やイノベーションの原資の不足

カーボンプライシングの収入の経済への還流